

# 福祉専門職養成教育における実習及び実習指導での

## ICT活用に関する先行研究レビュー

坂本 毅啓<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> 北九州市立大学

### Format of the Research Report

Takeharu Sakamoto<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> The University of Kitakyushu

Due to the impact of the spread of the new coronavirus (COVID-19) infection that began in 2020, it has become difficult to implement practical training in clinical settings in welfare professional training education. Although the Ministry of Health, Labor and Welfare (MHLW) permitted the implementation of alternative practical training using ICT, the knowledge of educational practice using ICT in welfare professional training education was extremely limited. A review of previous research and the results of a survey of educators indicate the importance of promoting further research in this area.

キーワード:福祉専門職養成教育, ソーシャルワーク実習, ICT活用, 先行研究レビュー

## 1. はじめに

2020年に始まった新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大(コロナ禍)の影響から,社会福祉士,精神保健福祉士といった福祉専門職養成教育において,臨床現場での実習の実施が困難となった.このような状況を受けて,厚生労働省はICT(Information and Communication Technology,情報通信技術)を活用した代替実習の実施を許可した.このような社会状況であったにも関わらず,福祉専門職養成教育においてICTを活用した教育実践の知見は極めて限られていた.本論文では,ICT活用に関する先行研究をレビューし,福祉専門職養成教育においてどのような取り組みが行われており,何がどこまで明らかにされていたのかを明らかにする.あわせて学校関係団体が公表した教員調査の結果も触れながら,今後の課題について考察を行うことにする.

## 2. 福祉専門職養成教育の概要

### 2.1 制度に規定された養成課程

福祉専門職養成教育とは,社会福祉士及び介護福祉

士法に規定される社会福祉士と介護福祉士,精神保健福祉士法に規定される精神保健福祉士,そして児童福祉法に規定される保育士が含まれる.ここでは主に社会福祉士と精神保健福祉士に焦点化して扱う.社会福祉士と精神保健福祉士は,いずれも福祉系大学・短期大学を卒業するか,社会福祉士指定養成施設・精神保健福祉士指定養成施設(いわゆる専門学校)を卒業し,国家試験を合格することで取得することができる国家資格である.

2021年度入学生から新しいカリキュラムが開始されているが,ここでは実習が実施された2020年度時点でのカリキュラムを表1と表2で示す.実践的な専門職養成を重視する観点から,臨床現場での実習の実施(相談援助実習,精神保健福祉援助実習)と,その事前事後指導(相談援助実習指導,精神保健福祉援助実習指導)が課せられている.

### 2.2 新型コロナウイルス感染症対策としての代替実習措置

医療職や教育職と同様に,福祉専門職養成教育においてもコロナ禍を受けた代替措置が定められた.文部

表 1 2020 年度時点での社会福祉士養成課程<sup>(1)</sup>

社会福祉士養成科目 【現行】	通学 課程	通信課程					
		一般養成			短期養成		
		面接 授業	印刷 教材	実習	面接 授業	印刷 教材	実習
①人体の構造と機能及び疾病	30		90				
②心理学理論と心理的支援	30		90				
③社会学理論と社会システム	30		90				
④現代社会と福祉	60		180		180		
⑤社会調査の基礎	30		90				
⑥相談援助の基礎と専門職	60		180				
⑦相談援助の理論と方法	120		360		360		
⑧地域福祉の理論と方法	60		180		180		
⑨福祉行政と福祉計画	30		90				
⑩福祉サービスの組織と経営	30		90				
⑪社会保障	60		180				
⑫高齢者に対する支援と介護 保険制度	60		180				
⑬障害者に対する支援と障害 者自立支援制度	30		90				
⑭児童や家庭に対する支援と 児童・家庭福祉制度	30		90				
⑮低所得者に対する支援と生活 保護	30		90				
⑯保健医療サービス	30		90				
⑰就労支援サービス	15		45				
⑱権利擁護と成年後見制度	30		90				
⑲更生保護制度	15		45				
⑳相談援助演習	150	45	405		45	405	
㉑相談援助実習指導	90	27	243		27	243	
㉒相談援助実習	180			180		180	
合計	1,200	72	2,988	180	72	1,368	

注：参考資料の一部を改編して転載。

表 2 2020 年度時点での精神保健福祉士養成課程<sup>(2)</sup>

【現行】 精神保健福祉士養成科目	一般養成 (時間数)	短期養成 (時間数)	大学等	
			指定科目	基礎科目
①人体の構造と機能及び疾病	30		○	○
②心理学理論と心理的支援	30		○	○
③社会学理論と社会システム	30		○	○
④現代社会と福祉	60		○	○
⑤地域福祉の理論と方法	60		○	○
⑥社会保障	60		○	○
⑦低所得者に対する支援と生活保護	30		○	○
⑧福祉行政と福祉計画	30		○	○
⑨保健医療サービス	30		○	○
⑩権利擁護と成年後見制度	30		○	○
⑪障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30		○	○
⑫精神疾患とその治療	60	60	○	
⑬精神保健の課題と支援	60	60	○	
⑭精神保健福祉相談援助の基礎（基礎）	30		○	○
⑮精神保健福祉相談援助の基礎（専門）	30	30	○	
⑯精神保健福祉の理論と相談援助の展開	120	120	○	
⑰精神保健福祉に関する制度とサービス	60	60	○	
⑱精神障害者の生活支援システム	30	30	○	
⑲精神保健福祉援助演習（基礎）	30		○	○
⑳精神保健福祉援助演習（専門）	60	60	○	
㉑精神保健福祉援助実習指導	90	90	○	
㉒精神保健福祉援助実習	210	210	○	
合計	1,200	720	22科目	13科目

注：参考資料の一部を改編して転載。

科学省と厚生労働省が連名で発出された「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、

養成所及び養成施設等の対応について」(令和2年6月1日)によれば、次のように取り扱うことになっている。以下、長いが引用する。

1. 学校養成所等の運営に係る取り扱い

(1)～(2) 略

(3) 学校養成所等にあつては、新型コロナウイルス感染症の影響により実習施設の受け入れの中止等により、実習施設の変更が必要となることが想定される。

実習施設を変更する際には、あらかじめ当該変更に係る承認を受けることとされているが、今般の新型コロナウイルス感染症を受け迅速な対応が必要であることに鑑み、承認申請に係る時期については弾力的に取り扱って差し支えないこと。

実習施設の変更を検討したにもかかわらず、実習施設の確保が困難である場合には、年度をまたいで実習を行って差し支えないこと。なお、これらの方法によってもなお実習施設等の代替が困難である場合、実状を踏まえ実習に代えて演習又は学内実習等を実施することにより、必要な知識及び技能を修得することとして差し支えないこと。その際、学校養成所等は学生等に対し、代替的な学修の趣旨や狙い、到達目標等について十分に説明するよう留意願いたいこと。

2. 略

3. 学校養成所等におけるICTを活用した遠隔授業等について

略

4. 実習等に関する各学校養成所等での実践事例等  
既にいくつかの学校養成所等においては、以下のような取組が行われている、もしくは実施が予定されている。各学校養成所等で実施に向けた環境や課題が異なることは十分に考えられるが、適宜参照の上、対応いただきたいこと。

(1) 三密を避けた状態での、シミュレーターを用いての基本手技の実習。

(2) オンラインによる模擬実習（カンファランス、ミニ講義、手術や手技のビデオ供覧と解説、試問、レポート提出）。

(3) オンラインによる臨床推論能力の養成を目的と

する授業.

- (4)研究棟や講義棟での電子カルテを用いた症例検討や動画視聴, シミュレーターによる技能学習(人数制限並びに部屋の換気等感染防止措置を実施.).
- (5)実習の臨床実習予習ノートを用いた e-Learning による在宅学習 (各実習の指導教員がメールでの質問へ回答).
- (6)事例データベースを作成し, 事例データベースを基に, 学内においてシミュレーション教育を実施.
- (7)臨床実習指導者参加型遠隔指導システムを活用し, 書面や動画を含めて臨床推論指導を実施.
- (8)実習先講師を招聘し, 実習先での状況や実習を行った時の対応など, 通常より現場に近い授業演習を実施.
- (9)臨地 (病室, 在宅, 居室) と大学をオンライン接続し, 以下の内容の学内実習を行う.
  - ・臨床実習への協力の同意を得た患者にオンラインで聴取する.
  - ・指導教員が収集した患者の日々の様子の映像情報をを用いて, 計画を策定する.
  - ・リアルタイムの患者の状況を確認・評価しながら, 日々の計画を策定する.
  - ・学生が役割分担するなどにより, 学内でのロールプレイを通じて技術を修得する.

上記から代替措置として ICT を活用して, 臨床現場と学内をつないだ演習などを行うことが可能となった. 特に「4.」で主立った事例の紹介がなされた点からも, ICT を活用して, 現場に入っただけの実習と同様の教育の質の担保することが, 行政サイドとして何としても求められていたとも考えられる.

### 3. 福祉養成教育における ICT 活用

#### 3.1 萌芽的取り組み

今般のコロナ禍が発生するよりも前に, 福祉専門職養成教育における ICT を活用した教育の研究に注目すると, 大山ら (2010) をまず挙げるができる. 現場実習に取り組んでいる学生へのリフレクション支援として携帯電話 (フューチャーフォン) を活用し, ある程度の「対話型リフレクション」が成立すること

が示されている<sup>(3)</sup>.

これに続くのは古瀬ら (2012) によるブログを活用した介護福祉実習での, 教員と実習指導者の連携指導の実践報告である<sup>(4)</sup>. そして佐藤ら (2013) では福祉施設職員へのアンケート調査結果から福祉専門職養成教育での ICT 活用の課題について考察をしている<sup>(5)</sup>.

実習では無く演習教材という点では原 (2014) がある. これでは ICT を活用したシミュレーションプログラムを用いて, 子どもの虐待事案への対応を学習する教材とその有効性を紹介している<sup>(6)</sup>. 坂本 (2019) では 2014 年頃から取り組んできた模擬面接演習での ICT 活用の事例とその有効性について述べている<sup>(7)</sup>.

なお, 佐藤や坂本の研究成果については坂本ら (2019) としてまとめられ, 福祉専門職養成教育においても ICT 活用の有効性, 相談援助実習や相談援助実習指導における ICT 活用の可能性の検討, より効果的な教材の作成等について述べている<sup>(8)</sup>.

以上見てきたように, コロナ禍以前に取り組まれた研究の到達点としては, 実習及び実習指導について ICT を活用した教育実践の報告やその形成的評価, 教育の質が担保されている根拠を示すだけの知見が蓄積されているとはいいがたい状態であった.

#### 3.2 コロナ禍における ICT 活用

コロナ禍を受けて, 全国, 特に都市部の福祉専門職養成教育の大学・専門学校等で, ICT を活用した教育実践が行われた. その中から 2021 年 3 月までに公表されたもの 3 点を紹介する.

灰谷 (2021) はオンライン導入実績がある福祉施設と連携して, オンラインを活用した実習を実施しており, その経験から学内のオンライン授業スタッフの協力が不可欠であったことを指摘している<sup>(9)</sup>.

大久保 (2021) は実習施設の実習指導者が課題を提示して進める在学実習プログラムの実践について紹介し, 遠隔による相談援助実習の教育効果について分析をしている. その結果, 実習指導者が適切な教材の提供と指導を行うことで, 実習生は十分に学ぶことが可能であると結論づけている<sup>(10)</sup>.

最後に実践報告であるが, 今村ら (2021) は精神保健福祉士の実習における学内・リモート実習について報告をしている. 実習指導者と綿密なコミュニケーション

ョンをとり、丁寧な準備が重要であることが示唆されている<sup>(11)</sup>。

### 3.3 日本ソーシャルワーク教育学校連盟による 2019 年の調査結果

社会福祉士養成校や精神保健福祉士養成校が形成している団体が一般社団法人ソーシャルワーク教育学校連盟（通称「ソ教連」）である。コロナ禍前である 2019 年に養成校に対して、ICT を活用した巡回指導の代替手段の導入に対する意識を調査したところ、「指導の一部において ICT を活用した指導に置き換えてもよいと考える」が 65.5%（76 校）と最も多かった。「巡回指導は ICT を活用した指導に置き換えるべきではないと考える」は 17.2%（20 校）、「全て ICT を活用した指導に置き換えても良いと考える」は 13.8%（16 校）であった。「一部」と「全て」の置き換えを合すると 79.3%（92 校）となり、約 8 割の養成校において、ICT を活用した実習巡回指導の代替手段の導入に肯定的な意識を持っていたことが分かる<sup>(12)</sup>。

## 4. おわりに

ここまで見てきたように、コロナ禍の影響により福祉専門職養成教育において ICT を活用した教育実践が求められているにも関わらず、十分な研究が行われてきたとは言いがたい。これは佐藤ら（2013）の時点から指摘されてきたことでもある。情報科学を専門とする教員やエンジニアとの連携が求められている。

## 謝辞

本研究は JSPS 科研費 19K02977 の助成を受けたものである。先行研究紹介の箇所についてはソ教連編『新たな社会福祉士養成カリキュラムにおける教員研修のあり方に関する調査研究事業』（2021 年 3 月）で坂本が担当執筆した箇所を基に、全面的書き直しの上で記載させていただいた。

## 参 考 文 献

(1) 厚生労働省社会援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室：“社会福祉士養成における教育内容等の見直しについて”、

<https://www.mhlw.go.jp/content/000523365.pdf>（2021 年 4 月 14 日確認）

(2) 厚生労働省社会援護局障害保健福祉部精神・障害保健課：“精神保健福祉士養成課程における教育内容等の見直しについて”、

<https://www.mhlw.go.jp/content/12205000/000524181.pdf>（2021 年 4 月 14 日確認）

(3) 大山博幸，北原俊一，丸山晃，新行内康慈，中尾茂子，安達一寿：“ICT を活用した福祉領域の学外実習におけるリフレクション支援と評価”，日本教育工学会論文誌，第 34 巻，pp.29-32(2010)

(4) 古瀬徹，井上登記子：“介護福祉士養成教育への IT 利用—教材としての介護現場からのブロッグ—”，第 20 回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集，(2012)

(5) 佐藤貴之，坂本毅啓：“福祉専門職教育における情報技術を用いたシステム導入の検討”，教育システム情報学会研究報告，28(1)，pp.74-79，(2013)

(6) 原佳央理：“子ども虐待対応のための教育訓練実践モデル—修正デザイン・アンド・デベロップメント(M-D&D)を用いて—”，学術出版会，東京，(2014)

(7) 坂本毅啓：“社会福祉士養成教育の模擬面接における ICT を活用した教育実践”，ソーシャルワーク研究，相川書房，第 45 巻，第 1 号，pp.32-38，(2019)

(8) 坂本毅啓，佐藤貴之，中原大介：“福祉職・保育者養成教育における ICT 活用への挑戦”，大学教育出版，岡山，(2019)。

(9) 灰谷和代：“コロナ禍におけるソーシャルワーク実習の対応 —オンライン実習プログラムの検討—”，東北公益文科大学総合研究論集，第 39 号，pp.99-107，(2021)

(10) 大久保圭介：“リモートによる相談援助実習の教育効果について —大規模災害や地理的な困難等による学びを止めないカリキュラム作りを目指して—”，社会福祉士，公益社団法人日本社会福祉士会，第 28 号，pp.72-77，(2021)

(11) 今村浩司，高口恵美，梶原浩介：“遠隔システムを活用した遠隔実習に関する教育実践報告 —学内・リモート実習を通してみた実習教育の効果・課題に関する一考察—”，日本ソーシャルワーク教育学校連盟 2020 年度九州ブロック研究大会，(2021)

(12) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：“社会福祉士養成課程の見直しを踏まえた教育内容及び教育体制等に関する調査研究事業”，一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟，東京，(2020)